

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
1	個人	鶴川 剛	大学院 会計研究科	校友会奨学生で2014年度総代・副総代となった。
2	個人	桐生 浩二	大学院 会計研究科	校友会奨学生で2014年度総代・副総代となった。
3	個人	佐藤 宏樹	大学院 環境・エネルギー研究 科	校友会奨学生で2014年度総代・副総代となった。
4	個人	岩脇 彩香	先進理工学部	早稲田大学自動車部に所属し、数々の大会で活躍した。2014年度全日本学生ジムカーナ選手権大会では、女子個人の部・女子団体の部で優勝。2014年度全日本学生自動車連盟年間総合杯では、11年ぶりとなる団体総合優勝に導いた。
5	個人	合田 祐美子	スポーツ科学部	早稲田大学自転車部において二十数年ぶりの女子選手として活躍した。第29回、第30回全日本学生選手権個人ロードレース大会で優勝し、二連覇を達成した。
6	個人	永井 陽右	教育学部	紛争地ソマリアへの直接的支援に取り組む日本で唯一の学生団体「日本ソマリア青年機構」を立ち上げる。隣国ケニアのソマリア人移住区におけるユースギャング更正による治安改善プロジェクトなど、ソマリア支援のために様々なプロジェクトを実行した。第28回人間力大賞～青年版国民栄誉賞～で人間力大賞並びに外務大臣奨励賞を受賞。大学生 OF THE YEAR 2015でも総合グランプリを受賞。
7	団体	庭球部 男子部	—	全日本大学対抗テニス王座決定試合において前人未到の10年連続優勝を果たした。
8	団体	バスケットボール部 女子部	—	全日本大学バスケットボール選手権大会優勝。また、創部史上初の関東大学女子バスケットボールリーグ戦優勝を果たした。
9	団体	早稲田大学気仙沼チーム	—	東日本大震災発生後チームを発足し、これまで3年余りにわたり、平山郁夫記念ボランティアセンターと協働し意欲的かつ継続的に支援を行ってきた。「そこで出会った気仙沼の方に、私たち早稲田生の元気を届けて笑顔になってもらいたい」「私たち自身が見てきた被災地の現状と気仙沼の魅力や底力を東京に届けた」という想いを具体的な支援へ展開し継続してきた。
10	団体	早稲田祭運営スタッフ	—	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
11	団体	学生環境NPO環境ロドリゲス	—	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
12	特別賞 個人	上田 拓馬	スポーツ科学部 2011年卒	第28回トマス杯(男子バドミントン国別団体世界選手権)の日本代表メンバーとして、史上初の優勝を果たした。
13	特別賞 個人	嘉村 健士	スポーツ科学部 2012年卒	第28回トマス杯(男子バドミントン国別団体世界選手権)の日本代表メンバーとして、史上初の優勝を果たした。
14	特別賞 個人	詩歩	人間科学部 2012年卒	新卒で広告会社に入社。研修で立ち上げたFacebookページ『死ぬまでに行きたい！世界の絶景』が63万いいね！を獲得している。同名書籍もベストセラーとなり、「絶景」は昨年の流行語大賞にもノミネートされた。
15	特別賞 個人	和田 竜	政治経済学部 1995年卒	2007年『のぼうの城』で小説家デビュー。小説第四作となる『村上海賊の娘』で、第35回吉川英治文学新人賞、2014年本屋大賞、第8回親鸞賞を受賞した。

(以上)